

団長検閲 「良好」



石狩川に二百八十米重浮橋架設

十二施群は、七月十九日から二十二日までの間、昭和五十九年度団長（中尾将補）の実施する訓練検閲を受閲した。

課目は「大規模な河川障害を克服して攻撃する師団を支援する施設群の行動」で三夜四日の連続状況下で実施された。

三三五中隊と三三六中隊は、障害処理から混合重浮橋の架設、三三七中隊は、約三十米の混合橋の架設から四・五米コルゲート二連継ぎの普通科連隊指揮所及び射撃指揮所の構築、三〇一地区施設隊も約三十米の混合橋の架設から暗渠一を含む約二・六キロの道路の補修作業、三一二器材中隊は、器材小隊が、二〇榴、十五榴の射撃掩体及び全長約三十九キロに及ぶ道路の補修作業、と島松、紅葉山及び江別渡河訓練場を舞台に実施された。

検閲の目玉は、石狩川に全長約二百八十米のM4A2と自走浮橋による混合重浮橋の架設であった。



発行所

岩見沢ひので会

【月間目標】

安全管理

新裁官から示された架設完了時間は、十四時開始し翌朝三時完成の十三時間であった。

田中、小笠原両中隊とも前日の攻撃支援で体力が十分に回復しておらず、隊員の疲労が憂慮されたが、所命任務の完遂に燃える両中隊の士気は高かった。群長はじめ各幕僚の見守るなか疲労をものともせず、キビキビと作業が進められていった。隘路となる自走浮橋との接続も、橋長橋軸の修正もMMで実施したとおりビタリと決まり、完成予定時刻より四時間以上も早く二十二時四十分で完成した。暗夜の中延々と続く二百八十米の重浮橋は石狩川を真二つに分断し、堂々としており美事の一語に尽きる出来映えであった、勿論九時間を切る快挙は団創設以来の新記録である……これには日頃訓練にカライ団長も「賞讃にあたいする」とのお言葉を述べられた。

その他紅葉山の三三七中隊の構築した指揮所はビューム管をうまく利用した脱出口を設け、団長から設計の良さを褒められた、また三〇一地区施設隊、三一二器材中隊もそれぞれ所命任務を完遂し、群は、一昨年来の血のにじむような訓練の成果が実り、三年振りに「良好」を獲得した。

第十二施群は

平時における最大の戦いに勝った

必勝 団持続走競技会(10月30日)

君が縮めるその5秒

鍛えて勝取る12施群

駐屯地創立三十一周年記念

駐屯地は創立三十一周年記念式典及び祝賀会を九月九日、岩見沢市長はじめ、協力会、OB、隊員の家族等、多数の来賓を招き盛大に行なわれた。

式典は、おりからの好天に恵まれ十時三十分キツカリ、三発の信号発煙筒吊煙(黄)の合図により開始された。巡閲、司令の訓示、来賓のお祝いの言葉、協力会関係の感謝状の贈呈、最後に各部隊の糸乱れめ正々堂々としたパレードで式典は終了した。引き続き音楽隊の演奏、場所をモミジ池に移し、たくさんの方の見学者の見まもるなか、レンジャー隊員による渡河攻撃、新隊員後期課程による、軽浮橋構築等の訓練展示、各部隊ごとの趣向を凝らした模擬売店とモミジ池中の島をメーン会場にした野外パーティーと多彩に繰り広げられた。

(駐屯地司令感謝状贈呈者)

協力会関係

旗手 進一氏

本堂 春夫氏

竹島 莊市郎氏

田中 喜一氏

土居 友行氏

就職援護関係

本山 有里氏

父兄会関係

土田 年平氏

(北村)

防衛モニター関係

干場 法美氏

(栗沢町)



陸幕訓練指導激賞される

第十二施設群は、九月二十六日、二十七日陸幕職種訓練指導を受察した。視察官は施設学校長の三島陸将以下五名で、第三施設団からは団長(中尾将補)が立会した。

二十六日午前、群長の状況報告に引き続き、群本部及び各中隊の訓練管理について書類検査を良好な成績で終え、場所を江別渡河訓練場に移し、群長の指導する中隊訓練「浮橋の架設」を受察した。担当中隊は、第三三七中隊を基幹とするほぼ完全編成に近い集成一コ中隊で各施設中隊から一コ小隊が支援、三三七中



隊は、M4A2は久しぶりで陸士は殆んど始めてである。三三七中隊は数度の野営訓練を実施して練成訓練に励み群長はじめ幕僚もつきつきりでこれを指導、受察にのぞんだ。

幕の切り落としは、三三七中隊長が命令受領に出頭、十五時状況を開始した。命令は、構築時間を計画より二時間も短縮し更に自走浮橋を二両減ずる、という苛酷なものであった。

十六時三十分、一部が河岸に進入し作業を開始、十七時三十分、日没とともに中隊は全力展開し、二時間の短縮と更に自走浮橋一両分の長さを確保すべく、中隊長の

指揮は激しく気魄があった、また隊員の方も時折激しく降る雨にずぶぬれになりながらも静粛かつきびきびと作業が進められて行った。隘路であるM4A2と自走浮橋との連接も演練の成果を遺憾なく発揮し迅速に完了、また、橋長調節も創意工夫器材(スライド式橋端部固定装置)により約七十センチの調整も一回で成功、この調子で進めば二十三時頃には概成と思われたが、一コ小隊転用の状況が入った。がしかし各級指揮官の適確な指揮と隊員各個の旺盛な士気により極めて短時間に処置を完了した。また完成間近に群長は更に浮のう一個破損の状況を与えた。

雨にぬれ完成間近にしての状況であったが、隊員の士気は高く直ちに浮のうは交換され作業は二十四時四十分美事に完成した。講評で団長からは実に「ミゴト」であったとお褒めの言葉をいただし、視察官からは、全国的に見て「キワメテ」高いレベルにあると激賞された。

縁故援護

あなたの身内、先輩、後輩、知人の勤務先で求人募集はありませんか?身の回りの人達に積極的に問いかけ、退職隊員に就職の道を拓いていこう。

誠意で奉仕する援護センターに連絡して下さい。

電話 三七六番

宝石 貴金属

にしはた

三笠市榊町464-16

TEL01267(2)4472

全国大会で優勝

八月五日、札幌市南区体育館で開催された、第二回全日本山梨居合道大会、個人戦二段以下の部において、岩見沢駐屯地業務隊の齊藤二尉は、全国各地から集まった並み居る強豪を相手に接戦の末、見事優勝の栄誉を獲得した。



齊藤 2 尉

齊藤二尉の奥さんも同じ居合道部員で、夫婦そろって上位入賞をと、普段にも増して練習に余念がなかった、特に大会近くになってから一段と練習に力が入り、誰れ言うとはなしに、夫婦そろっての優勝を、と岩見沢支部一同願っていたが、奥さんの方は若手を相手に大いに健闘したが、二回戦で惜敗した、今後の活躍が期待されま

基通だより



南川 3 曹

八月十二日、東千歳駐屯地で行なわれた基地通信大隊バレーボール大会において、南川三曹は中隊のポイントゲッターとして終始大活躍し中隊を優勝へと導いた。ま

た八月十一日、十二日に行なわれた持続走及び銃剣道競技会において派遣隊長長谷川二尉以下佐々木二曹、小笠原三曹が中隊の選手として大活躍し、優勝こそ惜しくも逃がしたもののどちらも準優勝という好成绩であった。

山柳もどき

(恵庭岳登山)

335 施中

私達家族にとって、はじめて一人前になる第一歩を踏み出す出発点です、これまでは親もとで私も主人も甘えていたのです、一家の主人、妻、親であることを自覚しなくてはなりません。

一、恵庭岳 登りで腰が下りて膝が大変。
一、支笏湖を 飛んでみたいな初登頂

渡道記

一、支笏湖を 眼下に臨む恵庭岳 登りビイビイ下りガクガク。
一、恵庭岳ふもとで足踏車の監視
一、昔日は完全装備に機関銃 今じゃおやつが精いっぱい

渡道記

三三五施中 大庵二曹夫人

六時過ぎ主人の帰宅する音がしました、玄関を入ったと同時に「決ったぞ、岩見沢だよ」その言葉に喜びと同時に「あーあ北海道行きか」という何ともいまいましい淋しさがこみあげてきました。私の両親と同居するようになって六年、五歳の長女と今年四月に誕生した長男と私達夫婦六人家族のにぎやかな生活……両親の淋しさを考えますと、可愛想に思われ、出発の日まで楽しくにぎやかにしてしまっていました。



大庵由紀子

るようになりまし。九州出身の方が沢山いらして言葉もそのまま気を使わずに話せます、私も淋しさを感ずることなく毎日が忙がしく過ぎていきます、日がたつほどに人との出逢いのすばらしさを感じます。

ただ一つの不安は、今年の冬です、想像もつかない雪雪雪……官舎の方々にいろいろ教えていただいて、きつとうまくのりきれることと思います。はじまったばかりの北海道の生活、私は、主人を信じてついてゆだけてです。きつと家族の絆、夫婦の絆、親子の絆がいつそうかたく結ばれることと確信しています。子供達よ、この大自然を体いっばいあびて、たくましく育つておくれ!!

紹介 隊長 (部)

第三二二施設器材中隊長
三等陸佐 古井孝雄(東京都)
二十三年一月七日生(14 B)
「ニーズに答えよ」を要望事項に第六代中隊長として着任。広く深く、何んでも入門まで……と謙遜しているが……今後の活躍が期待されます。

群本部中隊長

一等陸尉 牧野 禮吾(茨城県)
十九年七月二十二日生(16 A)
第五代中隊長として同群機械幹部からの配置で中隊長は二度目、要望事項「力を顕現しよう」、「根性」という言葉が好きで、闘う本部中隊をスローガンに各種戦技に力を入れたい、と意欲的である。

第十二施設群第二科長

三等陸佐 宮崎 悦郎(北海道)
十年三月三十日生(3 U)
絵画、音楽鑑賞が趣味で、要望事項に創造精神をかかげ、時にはジョークもとばす気さくな人柄。

紹介 科長 (科)

業務隊厚生科長

一等陸尉 木下 芳春(福岡県)
十四年一月十六日生(16 A)
十二施設群本部中隊長からの配置、要望事項「積極、合規、基本」閉書と読書が趣味。

二階お座敷の宴会は
サービス料金で受賜ります
岩見沢市二条西二丁目

くらぶ
いっぴみ
TEL 23-4860

国をまもる防衛庁職員のための

- ◎ 家族保障保険
- ◎ ニューライフサイクル&終身
- ◎ 終身保険やすらぎ

協栄生命

担当 高橋ひさ子、鈴木裕子

パワーファミリー

オーダー終身保険



心をこめておつきあい…
安田生命